

独立行政法人労働者健康安全機構 釧路ろうさい病院

地域医療連携総合センター だより

2016
No. 32

INDEX

1. ピンクリボン活動！最前線
2. インフォメーション

発行：2016.9 釧路労災病院地域医療連携総合センター

理念：最新の知識と技術に基づき、良質で信頼される医療を実践します。

■当院は地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、エイズ治療中核拠点病院です。

ピンクリボン活動！最前線

乳がん看護認定看護師・看護師長

森 美代子

キーワード

- ① 乳がん検診率向上の秘策！？
- ② 親のがんを子どもにどう伝え、どう対応するか？子どもの知る権利を考える



動き出す「地域がん診療連携拠点病院」

釧路労災病院の乳腺分野では、乳腺認定医1名、乳腺専門医1名、乳がん看護認定看護師2名で乳腺疾患の診断・治療・ケアの最先端を担っています。

乳がんは女性のがんの中では、罹患率が1位（国立がんセンター2010年）であり、年間約6万8千人、死亡者数は年間約1万3千人とも言われています。

乳がんは唯一自分で発見できるがんの一つであるが、まだまだ自己検診やマンモグラフィ検診は普及されていない（検診率の低さ）のが現状です。2010年の釧路市、釧路町の検診率は20%前後と低値を示しています。そこで、当院では2009年より乳がん啓発活動を推進しています。毎年10月を強化月間として、ピンクリボンキャンペーンを展開しています。ピンクリボン運動とは、1980年代に乳がん罹患率の高い欧米で生まれた乳がん早期発見・早期治療の啓発運動です。日本でも乳がんの発症は年々増加の一途を辿り、12人に1人が生涯に乳がんを発症すると言われています。

当院の特色あるピンクリボンキャンペーンの活躍をご紹介します。

毎年10月の第3日曜日にマンモグラフィサンデーと称し、2009年の開催当初は20名の市民を対象にしていました。近年は要望も多く30名と増加し、8年目を迎え延べ検診者数は180名となりました。検診者のアンケートによれば、もっと日曜日検診の機会を増やしてほしいという要望が多く今後の課題と言えます。また、ピンクリボンキャンペーンは、毎年市内の小学校、中学校、高校、高専の協力を得た啓発活動を展開しています。子供たちの活動内容の主なものは、乳がん検診啓発ポスターの作成やピンクリボンの作成の他、大型商業施設での啓発活動の参加などです。

また、2009年に発足した道東乳がん患者会「シャイニー・ピーチ」の患者さんと共に啓発活動を強化してまいりました。大型商業施設での啓発活動は、毎年好評で患者会員と高校生や当院スタッフで、約300名程の市民に検診の必要性を説明しました。どんなに声を枯らしても、「私には関係ないわ」という方も数多くいらっしゃるのが現状です。

しかし、最近ではタレントさんなどの乳がんがテレビなどで報道されるたびに、当院の乳腺外来患者も増加する傾向があり、乳がんに対する関心度は一過性に上がります。しかし、まだまだ検診を受け

る一步を踏み出せない方も多い現状があります。

そこで、もう一つの特徴的な啓発活動をご紹介します。釧路管内の小・中・高（120校）を対象に、乳がん啓発活動を行うために出前講座に取り組んでいます。その際、乳がんの早期発見にとどまらず、親ががんにかかった場合の子どもと保護者双方の対応の仕方についても考える機会を提供しています。テーマ『人ごとじゃない乳がんのお話 みんなで行こう乳がん検診！』サブテーマ『もし、親ががんになったら！？自分はどう対応していくか？子どもの意志と知る権利、親の意志』

現在120校中、小・中・高併せて4校と養護教諭が対象です。遅々たる歩みではありますが働き盛りで子育て真っ最中のお母さんたちに、少しでも関心を持っていただくために子どもへの啓発活動は有用と考えます。これからも、2名の乳がん看護認定看護師と乳腺専門医で、管内を駆け巡りたいと計画中です。北海道教育委員会（管内）、保健所、釧路市健康推進保健相談課、釧路がんセンター、各学校のPTAの皆様のご尽力を賜りながら啓発活動を展開して行きたいと考えております。

乳がん啓発活動 ピンクリボンキャンペーン（平成28年10月1日～21日）

〔ピンクリボン啓発活動〕

日時・場所：平成28年10月1日（土）10時～13時 イオン釧路店 1階光のひろば

対象：一般市民

〔マンモグラフィサンデー〕

日時・場所：平成28年10月2日（日）受付時間 8時30分～11時 釧路労災病院

概要：要予約 先着30名 ※費用 9,115円 市町村発行クーポン券使用可能

〔市民公開講座 テーマ「がんと闘う 乳がん体験者の語り」〕

日時・場所：平成28年10月2日（日）13時～15時 釧路労災病院 3階講堂

対象：患者、患者家族、一般市民、医療従事者（100名程度）

第一部：講演会

第二部：乳がん体験者の語り（2～3名）

第三部：乳がん自己検診指導（DVD見ながら）

インフォメーション

2016 高校生のための医療福祉体験セミナー in くしろ・ねむろ地域セミナー

「高校生のための医療福祉体験セミナー in くしろ・ねむろ地域」が8月6日（土）今後の進路選択や将来の目標を明確にする一助として、釧路・根室地域の医療福祉従事者をを目指す人材を創出することを目的として当院で開催されました。

地域医療支援病院としての役割である地域市民に対する研修会として、講演・現場・体験・ディスカッション等のプログラムで、75名の高校生に参加していただき、今年で5回目を数えます。

